

◆歩行計測による健康増進継続調査

(1) 目的

将来にわたり健康長寿のまちであり続けるために、1つの観点として、転倒により死亡や要介護状態に至ってしまうことを予防するため、歩行改善による転倒リスクを軽減し、自立して歩行できる状態を維持することが重要と考える。

平成30年度に歩行計測と歩行改善指導による市民モニター調査を行い、その効果の一つとして転倒リスクを低減する効果が見込まれることが分かった。令和元年度は、その継続調査として、モニターに転倒日誌を記載してもらい、転倒経験と歩き方の関連性、転倒リスクのスクリーニングとしての有用性を調査することを目的とする。

(2) 業務内容

- ・ 5月 市民モニター募集（322名 ※企業モニター含む）
- ・ 6月 モニター向け説明会（浅間総合病院 村島院長講演会）
- ・ 7月 第1回歩行計測会
- ・ 9月 第1回健康講座（浅間総合病院 角田救急医療部長）
- ・ 11月 第2回健康講座（（公財）身体教育医学研究所 岡田所長）
- ・ 1月 モニター向け経過報告及び歩行改善指導会
- ・ 3月 第2回歩行計測会及び結果報告会

(3) 調査結果

別紙資料のとおり



説明会の様子



歩行計測の様子

◆海外向けプロモーション映像等制作委託

(1) 目的

保健・医療のつばさ事業において、南米や南アフリカから母子保健事業に関する視察が増加してきたため、平成29年度に制作した『佐久地域「健康長寿」プロモーション映像（改訂版）』の多言語バージョン（フランス語、スペイン語、ポルトガル語）を制作する。

また、この映像をベースとして、平成29年度に制作したパンフレットの多言語バージョンを制作する。

これにより、既存の6言語（日本語、英語、中国語、タイ語、ベトナム語、マレー語）と合わせ、計9か国語となる。

(2) 業務内容

成果品：①『佐久地域「健康長寿」プロモーション映像（改訂版）』DVD

フランス語、スペイン語及びポルトガル語

②上記映像をベースとしたパンフレット

・フランス語、スペイン語、ポルトガル語 各500部

③既存のパンフレットの増刷

・日本語 500部 ・英語及び中国語 各300部

(3) 活用方法

・国内外の視察団体、JICAやコンサル等へ、佐久地域の「健康長寿」のPR資料として配布する。



タイ語パンフレット

◆通訳養成講座

(1) 目的

保健・医療のつばさ事業において、訪問介護などグループに分かれる視察に対応するため、中国語とタイ語の通訳養成講座を実施し、通訳者を育成する。

(2) 登録者

- ・中国語 8名
- ・タイ語 6名

(3) 今年度の実施状況

- ・タイサンスク町視察における通訳 (4/19) : タイ語 2名
- ・打合せ会議 全1回 (9/19) : 講座の日程、内容等の打合せ
- ・通訳養成講座 (中国語) 全3回 (11/9、11/16、11/23)
講師を招き、通訳の心構え、医療通訳、ロールプレイの講習等を実施
- ・通訳養成講座 (タイ語) 全2回 (12/1、12/8)
講師を招き、視察通訳、医療・介護通訳、ロールプレイの講習等を実施



中国語講座の様子



タイ語講座の様子